

出席システムの評判調査

グループ名: G06
 学籍番号: C0116103
 発表者: 倉本拓実
 グループメンバー: 岡村泰治、内山海

2018/1/9

教室番号 実A:308

1

実験概要

- CS基礎実験ⅡテーマB履修者を対象に出席システムの評判についてアンケートを行う
- アンケートの結果を元にクロス集計表と係り受け解析の2手法を基に出席システムの評判を導き出す
- 結論として不便な点も多いが簡単に出席が取れるのが良いという結果が出た。

2

アンケートの目的

- CS基礎実験ⅡテーマB履修者が普段から利用している出席システムについて分析しどの様に考えているのかを調査する

3

分析データ

- データの出処
 - アンケート内容: 出席システムについてどのように思っているか答えてもらう。
 - 平成29年度CS基礎実験テーマB履修者(98人)
- データ件数
 - 元の件数: 278件
 - 不要なデータを削除した件数: 271件
 - 削除理由: アンケート調査の意図に合わなかったため

4

分析方法

- クロス集計表ではKHCorderを用いた分析によって求められた結果をExcelを用いて作成・分析を行った
- 係り受け解析ではNetbeansのResultAnalysisMain.javaを実行し求められた結果を用いて分析した

5

分析結果

原因					
結果		総計	不便	良い	便利
総計		542	60	55	42
簡単		37		3	8
忘れる		29	14	1	
できる		21	1	2	2
すぐ！できる		19		6	3

クロス集計表からは忘れるから不便と思っている人、楽だから便利と思っている人がいると読み取れる。

6

CS基礎実験テーマB 発表会資料

個人考察 (クロス集計表)

- 良い・便利という意見が2つあり一方で不便だという意見が2つあった
- これは出席システムを用いて出席がすぐ出来るから便利と考える人が居ると同時に出席システムを用いて出席をすることを忘れるから不便と考える人とどこに居ても出席を出せてしまうから不便と考える人が居ると考えられる。

7

CS基礎実験テーマB 発表会資料

個人考察 (係り受け解析)

- 結果→原因と結果の因果関係
- 「楽」の要因として「楽」という言葉が出現した。「楽」はQRコード用いて出席が取れる事や出席の後に講義ページに移動できるからだと考えられる。
- 原因と結果→原因の因果関係
- 「できる」の要因には「すぐ」や「簡単」や「端末から」等がある係る文節から「QRコードを用いた出席」や「席番号を入力して出席」等の因果関係ができる。

8

CS基礎実験テーマB 発表会資料

グループ考察 (クロス集計表)

- 「良い」という評価概念からは出席システムは楽に出席処理が出せるから良い等の意見が多くでた
- 「悪い」「不便」という評価概念からは忘れやすいから不便という意見や教室にいなくても出席が出せてしまうから悪い等の否定的な意見が多数出た。
- 今回実施したアンケートではそれぞれ利点と欠点に属する評価概念を基にクロス集計表を作成し分析を行ったが良い点・悪い点が出たのでアンケートの目的に沿った回答が取得できたと考えられる。

9

CS基礎実験テーマB 発表会資料

グループ考察 (係り受け解析)

- 係り受け解析の結果より良いと考えている回答者の原因としては普段利用していることや操作が簡単などという点が共通している原因として考えられる。
- 欠点に関してはクロス集計表の時と少し似ており通知が無くて忘れるやポータルへのログインが面倒だという意見や授業によって出席に対する対応が異なる等という意見が目立った

10

CS基礎実験テーマB 発表会資料

結論

- 今回の分析としてクロス集計表と係り受け解析の両手法に共通する点はシステムが手軽に利用できるという点であると読み取れる。
- 欠点では両手法共に少し異なっておりクロス集計表では「どこでも出席がだせしてしまう」という意見が係り受け解析では「授業によって対応が違う」や「ページの読み込みエラー」等に関する意見がでた
- これらの結果から出席システムは不便な点も多いが簡単に出席が取れて良いものではないかと考えられる。

11